



令和6年 2月3日(土)
里山レンジャー 「冬の生きもの博士」

今回は里山センター周辺で冬越しをしている生き物を学びました。
レンジャーの子ども達だけでなく、同行したスタッフ・保護者の方も楽しい時間を過ごしました。



「生きものさがしのコツ」「チェック表の書き方」を教えてください、スタートしました。
沢山みつけれればいいですね♪



さっそく植込みで「オオカマキリ」のたまごを発見。たまごを守るため、葉っぱのうら側に産むんですね。



沢田の池ではカルガモやコガモ、アオサギを見ることができました。初めて望遠鏡で野鳥を観察。「わあ〜良く見える！」



チェックシートに載っていない生きものが見たらメモとスケッチをします。
観察力と絵の上手さに感心です。



裏山にて古い竹を割って中を見てみると…
ベニカミキリの幼虫がいました。「トウモロコシみたい〜」本当は成虫に会いたかったけど、おもしろい形をしているね。



「この幼虫、どっちが頭なんだろう？」
虫メガネを使い、小さな生き物を観察しました。
【注意】虫メガネで太陽を見ないでください！



恩徳寺に向かう途中、カラスウリの実を見つけました。ちなみに種は大黒様に似ており、財布の中に入れておくと、金運に恵まれると言われていたのだとか。



境内の石とうろうで「コカマキリ」のたまごを発見。種類によってたまごの形や産む場所も違うことを学びました。



【左】フユイチゴ
センター裏でひとときわ赤い実が目立っていました。

【右上】ゴミムシのなかま
こちらも竹の中で越冬中でした。

【右下】サシガメのなかま
なんと、肉食系のカメムシの一種だそうです。



【行事を終えて】

「竹や木の中から幼虫が出てきてビックリ」
「アオサギがかっこ良かった」
「フユイチゴは食べると酸っぱいんだ」など、
普段は触れたり見たりすることのない、貴重な体験をしました。

そしてたくさんの生きものがこの里山で春を待っていることも良くわかりました。
みんなでいろいろ見つけられて楽しかったね。